

## 「2025年に向けた対応方針」提出状況

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別						現状（病床機能）①						指定・届出等						2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①）						機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針（抜粋）					
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病床）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定					
医療法人横浜柏堤会 よこすか浦賀病院	許可病床	60	39			99	60	39			99	○			○				60	39					99								
医療法人横浜柏堤会	稼働病床	60	39			99	60	39			99	告示・輪番			(39床)				-	-	-	-	-	-	-								
神奈川歯科大学附属病院	許可病床	23				23	23				23								25						25	●	●						
学校法人神奈川歯科大学	稼働病床	23				23	23				23								-	+2	-	-	-	-	+2	急性期(+2) 2020年			健康寿命に貢献できるような歯科医療の提供	現在の23床から25床（移転前の病床）に戻したい時期は2年後を目指している	現時点ではなし		
社会福祉法人 日本医療伝道会 総合病院 衣笠病院	許可病床	251				251	50	124	20	57	251	○	○	○	○	○		50	181	20				251	●				横須賀・三浦構想地域にて不足している回復期リハビリテーションを提供する為、東館6階病棟（休棟中）を急性期から回復期へ変更予定。 ※2023年4月を再開日目としている。				
社会福祉法人 日本医療伝道会	稼働病床	194				194	50	124	20		194		(20床)	(91床)	(33床)				-	-	+57	-	△57	-	-	2023年4月							
自衛隊横須賀病院	許可病床	100				100	100				100	○						100						100				・脳外科疾患や心血管疾患を除く急性期医療の提供体制は維持					
防衛大臣	稼働病床	100				100	100				100	輪番							-	-	-	-	-	-	-			・地域における回復期機能の一部を担えるよう検討	・自衛官とその家族への医療を引き続き担当				
社会福祉法人湘南福祉協会 総合病院湘南病院	許可病床	117	50	120		287	93	50	24	167	○							57	60	50				167	●				地域における医療と地域の連携の実現。 高齢者を中心とした患者層に対して在宅生活の継続が可能となるよう治療、支援を提供する。	地域に不足する回復期機能を提供するため、西2階病棟（36床）を急性期から回復期（地域包括ケア病棟）へ転換。 平成31年1月より開始予定。			
社会福祉法人湘南福祉協会	稼働病床	93	50	120		263	93	50		143	告示・輪番							-	△36	+60	-	△24	-	-	2019年1月								
医療法人社団聖ルカ会 パンフィックホスピタル	許可病床	41	259			300		259	41	300								41		259				300	●	●				療養病棟主体であることに変わりはないが、急性期病棟を何とか稼働させ、老人保健施設・特別養護老人ホーム並びに各種高齢者住宅等から、本来高度急性期病院を受診する必要がない患者様の初期対応を行い、在宅復帰を促し、訪問診療・訪問看護・デイケア・訪問リハビリなど在宅部門と連携を取りながら、入院施設を有する訪問診療として包括的に地域高齢者をケアしていきたい。	西棟（休床41床を含む）においては、今後改築を検討することもあり得ため、その際には地域の情勢を勘案し、一般病床から療養病床への転換もあり得る。		
医療法人社団聖ルカ会	稼働病床		259			259		259		259								-	+41	-	-	△41	-	-	急性期(+41)								
聖ヨゼフ病院	許可病床	135	47			182	56	45	47	34	182	○		○				50	85	47				182	●				現在の整形外科での急性期医療や内科での高齢者救急医療を維持しつつ、地域で不足とされている回復期医療（地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟）の一翼を担う。	地域に不足している回復期機能を提供するため、休棟病床を稼働する。 (スケジュール) ・平成30年4月 新病棟建設工事着工 ・平成32年2月 新病棟竣工 ・平成32年4月 一般病棟50床、地域包括ケア病棟45床、回復期リハビリテーション病棟40床 療養病棟47床 計182床の稼働			
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床	101	47			148	56	45	47		148		(45床)					-	△6	+40	-	△34	-	-	2020年4月								
ライフゆう	許可病床	58				58		58		58								58					58						重症心身障害児者の安定した地域生活、地域参加、重症心身障害児に向かたアプローチ	病床許可数は58床なので、福祉施設のベッド数を増やすして許可範囲内での増床を目指している。			
社会福祉法人みなと舎	稼働病床	45				45		45		45								-	-	-	-	-	-	-									
大船中央病院	許可病床	285				285	247			38	285	○		○				247		38				285	●				・がん治療（乳がん、呼吸系のがん、消化器系のがん、泌尿器系のがん）疾患への対応を中心とした急性期医療～慢性期医療の提供体制を維持していく。 ・地域住民が安心して医療を受けられるように地域の診療所と連携を取りながら1、2次救急医療を充実を図り実施する。	休床中38床については平成31年4月を目途に療養病床を始める予定としているが現状では看護職員（看護師・看護助手）が20名程度足らない為募集中である。	変更予定無し		
社会医療法人財団互恵会	稼働病床	247				247	247			247			(40床)					-	-	-	+38	△38	-	-	2019年4月								
医療法人財団額田記念会 額田記念病院	許可病床	58				58		58		58								58					58						地域包括ケアシステムに向けて検討中	検討中	検討中		
医療法人財団額田記念会	稼働病床	58				58		58		58								-	-	-	-	-	-	-									
医療法人大樹会 ふれあい鎌倉ホスピタル	許可病床	112				112	40	20	52		112	○						58	50	48			156	●	●				鎌倉旧市街地地域における基幹病院（総合病院）として24時間365日救急受入、急性期病棟40床→58床 ・回復期病棟20床→50床（回復期病床転換補助金活用予定） ・慢性期病棟52床→48床	建物老朽化のため、現在建て替え工事を計画進行中。 ○婦人科を廃止 ・内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、人工透析内科、外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、口腔外科			
医療法人 大樹会	稼働病床					0					0	告示・輪番						休止(20床)					-	+44	2019年10月	H28配分済 H30許可							

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別						現状(病床機能)①						指定・届出等						2025年(病床機能)② ※下段は現状との差(②-①)						機能変更あり(時期)	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針(抜粋)																																		
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟(病)	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定																																		
鈴木病院	許可病床	54	71			125	54		71		125	○					○			54		71			125			在宅医疗	なし	なし																																
医療法人社団南浜会	稼働病床	54	71			125	54		71		125	告示・輪番							-	-	-	-	-	-	-																																					
鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	許可病床		128			128		128			128					○					128					128			急性期と生活期を繋ぐ医疗として回復期医疗があり、この回復期を担う当院が地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たしていくなければならないと考えている。その実践にあたっては急性期病院との連携や在宅復帰後のリハビリテーションケアの継続に向けて在宅を担う医疗・介護サービス機関との連携など復帰後のフォローアップに対してのサポートも必要と考える。また、当院内においても通所リハ、訪問リハを始め在宅の拠点を設け訪問看護・介護、デイサービス、ショートステイを兼ねた施設運営を実施しており、地域に開かれた病院として今後も地域医疗に貢献していきたいと考えている。	予定なし	予定なし																															
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床		128			128		128			128		(128床)							-	-	-	-	-	-	-																																				
小さき花の園	許可病床	72				72			72		72										72				72			・利用者の医疗の高度化が進んでおり、ご家族の負担軽減のため通所事業や短期入所で受け入れ、ニーズに応えられる诊疗機能体制。 ・児童相談所等と連携し、一人でも多くの医疗・療育を必要とする長期入所希望者を受け入れ、人がんらしく生活できるよう援助していく。	特になし	特になし																																
社会福祉法人聖テレジア会	稼働病床	72				72			72		72									-	-	-	-	-	-	-																																				
医療法人養生院 清川病院	許可病床	89	109			198	89		109		198	○								89		109			198			紹介、被紹介共に他病院との連携を強化していく。 近隣のクリニック・在宅医疗施設との連携を図り、スムーズな入院・退院を図る。 三次救急病院から処置が終わっても直ぐに自宅に退院できない患者を積極的に受け入れ、地域の中心病院として活動していく。	予定なし。	予定なし。																																
医療法人養生院	稼働病床	89	109			198	89		109		198	告示・輪番								-	-	-	-	-	-	-																																				
鎌倉ヒロ病院	許可病床	49	30			79	49		30		79	○				○				49		30			79			今後当院は「地域に密着した急性期・慢性期病院」として、高度急性期病院では受け入れ困難な高齢者救急を含めた救急要請に対し、基本的に応需していかなければならない立場の病院であると考えている。また近隣急性期病院のバックベッドの役割も担っていくなければならないと思っている。																																		
医療法人光陽会	稼働病床	49	30			79	49		30		79		(33床)							-	-	-	-	-	-	-																																				
一般財団法人 鎌倉病院	許可病床	67	18			85	34	33		18	85	○			○				48	59					107	●	●	●	整形外科を中心とした一般急性期と、地域包括ケア病棟を中心とした地域医疗需要に合わせてケアミックス病院として機能を維持、更に強化することを目指す。在宅医疗・介護事業所との連携、いすゞは自院での展開を計画しており、地域におけるかかりつけ医療機関の役割を継続して行く。	3年後を目標に、現在地での病院建て替え計画をしている。建て替え後は、現在の許可病床85床から107床へ、一般病棟12床、地域包括28床増床し、手術室も現状1室のところを2室へ増やす。現状受け入れが難しくなっているケースや、入院時期が先延ばしになっているケースなども受け入れ可能な体制を強化していく。	現状の、整形外科、内科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科の機能を維持更に強化していく。																															
一般財団法人 鎌倉病院	稼働病床	67	18			85	34	33		67	告示・輪番		(33床)						-	+14	+26	-	△18	-	+22	H28配分済(+14)	急性期(H29許可済)	●	●	●	具体的には、急性期病床機能を37床または24床にし、回復期病床機能を増加する。	現状の、整形外科、内科、皮膚科、リハビリテーション科、麻酔科の機能を維持更に強化していく。																														
医療法人湘和会 湘南記念病院	許可病床	100	61			161	50	74	37		161	○			○	○	○			50	74	37			161			今後も継続して地域の求める回復期病床機能の拡充に努める。また、緩和ケア病床機能について取り組んでいる機関がないことから検討のひとつに挙げていく。 救急体制について、3次救急医療およびそれと同等の医療を提供する機関の対応患者の多くが軽傷である現状を踏まえ、当院の2次救急医療の充実を図る。 また、在宅医疗の拡充に努める。	平成30年度内に、急性期病床機能の一部を回復期病床機能に転換するか検討し、今後その方針に向け調整していく。	特になし																																
医療法人湘和会	稼働病床	100	61			161	50	74	37		161	告示・輪番		(50床)	(24床)				-	-	-	-	-	-	-																																					
医療法人沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	許可病床	619				619	619				619	○							648							●	●	●	二次医療圏が縦に長く分断されているイメージがあるため、患者の流动を考慮し、ポストアキュートやサブアキュート等へのスムーズな連携を他院と図り、地域で完結するように努める。また、外傷センター・先端治療(先進医療)センターを設立し、広域急性期病院を目指す。	当院は現在、ICUからの転換先が一般病床となっていることから、患者の安全性の向上と密度の高い医療の提供を目的に、2018年度中に特定入院病床であるHCU(16床)の整備を行う計画である。そして、占床率が90%近くとなっているICUにおいても、手術後の患者安全をさらに高めるため、2019年度に現状の8床から12床(4床増)に拡張する計画である。 また、身体的疾患を伴う精神疾患(認知症を含む)患者が近年急増しており、これに対しては精神科の入院を可能とする専用病床(10床)を2019年度に整備する予定である。 (HCU病床：16床、精神科病床：10床、ICU病床：8床→12床、救命救急病床：20床、NICU病床：6床)	2020年度に、陽子線治療器、トモセラピー(追加設置)、PET-CT、PET-MRIなどの検査機器を完備するがん疾患の放射線治療に特化した施設を増築し、包括的のがん治療センターの設立を計画している。 2021年度には、救命センター・外傷センターの機能を拡充する計画である。 救命エリアは面積を拡張し高度治療を可能にする環境整備を行なう。外傷エリアについては、手術室を3室から5室に増設し、病床も56床から15床増床し再編成をする。 その他に、NICUの機能を強化し、産科・小児科・新生児科の連携のもと周産期センターの整備も進めている。																															
医療法人沖縄徳洲会	稼働病床	619				619	619				619								+29	-	-	-	-	-		H27配分済	高度急性期(+29)	●	●	●	地域医療は医療にとどまらず、生活環境の福利を増進する役割を担っていると感じている。	2022年頃に40床程度の介護医療院を新設する計画と既存の病院(36床)も建て替える計画がある。	特に予定なし																													
医療法人社団則天会 逗子病院	許可病床	36				36			36		36				○				40						40	●	●	●	地域医療は医療にとどまらず、生活環境の福利を増進する役割を担っていると感じている。	2022年頃に40床程度の介護医療院を新設する計画と既存の病院(36床)も建て替える計画がある。	特に予定なし																															
医療法人社団則天会	稼働病床	36				36			36		36								-	+40	-	△36	-	-		2022年頃	2022年頃	●	●	●	地域医療は医療にとどまらず、生活環境の福利を増進する役割を担っていると感じている。	2022年頃に40床程度の介護医療院を新設する計画と既存の病院(36床)も建て替える計画がある																														

医療機関名 ※下段は開設者名	病床種別						現状(病床機能)①						指定・届出等						2025年(病床機能)② ※下段は現状との差(②-①)						機能変更あり(時期)	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	2025年に向けた方針(抜粋)					
	一般	療養	精神	結核	感染症	計	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟へ病院	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養後方支援病院	在宅療養後方支援病院	高度	急性期	回復期	慢性期	休棟	介護	計	今後地域で担う役割等	病床機能の変更予定(増床・減床を含む)	診療科や、その他の機能の変更、見直し等の予定					
医療法人沖縄徳洲会葉山ハートセンター	許可病床	89				89		83			6	89	○							89	●	●								今後はスタッフの確保に努めて2025年までには休棟中の6床を開棟する予定。			
医療法人沖縄徳洲会	稼働病床	83				83		83				83	告示							-	+6	-	-	△6	-	-	急性期(+6)			診療科については、医師採用次第では診療科の追加等を考えていますが予定期などは未定。			
横須賀市立うわまち病院	許可病床	367	50			417	127	190	50	50	417	○				○	○	○	142	199	109				450	●	●	●	うわまち病院は、高度急性期から回復期までを担っており、小児救急を含む救急医療、周産期医療のほか、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。 新病院において引き続きこれらの機能を担い、小児医療については、現状市民病院からうわまち病院に機能集約しているメリットを生かし、新生児期以降の小児重症患者へのより充実した対応を図る。	うわまち病院の現在の病床数と2025年(新病院)の予定病床数 高度急性期 127床→142床 (+15床) 急性期 190床→199床 (+9床) 回復期 50床→109床 (+59床) 慢性期 50床→ 0床 (△50床) 合計 417床→450床 (+33床)			
横須賀市	稼働病床	337	50			387	127	160	50	50	387			(100床)				+15	+9	+59	△50	-	-	+33	2025年	高度急性期(+15)、急性期(+6)	市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。 回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。 予定期時は新病院開院予定の2025年度(平成37年度)とする。						
横須賀市立市民病院	許可病床	476				6	482	84	256	95	41	476	○			○	○	○	69	247	68				384	●		市民病院は、高度急性期から回復期までを担っており、在宅療養後方支援病院として在宅患者の受け入れにも対応している。また、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を有し、地域包括ケアシステムの一翼を担っている。 今後も引き続きこれらの機能を担う。また、三浦半島西側で、くも膜下出血の搬送時間が他の地域よりも時間を要する60分圏内エリアとなっていることから、医師の確保等により脳卒中患者の受け入れ体制拡充を図る。	市民病院の現在の病床数と2025年の予定病床数 高度急性期 84床→ 69床 (△15床) 急性期 256床→247床 (△9床) 回復期 95床→ 68床 (△27床) 慢性期 0床→ 0床 休棟 41床→ 0床 (△41床) 合計 476床→384床 (△92床) (他に感染症病床6床あり)				
横須賀市	稼働病床	356				6	362	66	222	68		356		(34床)	(34床)			△15	△9	△27	-	△41	-	△92	2025年		市立2病院を一体として考え、市立2病院合計の高度急性期、急性期病床数は、2025年以降も現在の病床数と同じとする。 回復期、慢性期病床は、地域の医療提供体制や医療需要を鑑み、市立2病院合計で減とする。 予定期時は新病院開院予定の2025年度(平成37年度)とする。						
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	許可病床	86		246		332			45		41	86								45		41		86			○アルコール依存症・その他依存症 依存症全国拠点病院として構想区域内のみならず全国に医療を提供する機能を維持する。 ○一般精神 専門的な外來診療及び急性期治療を中心とした入院診療の提供を地域にて行う。 ○認知症 アルコール関連認知症の外来・入院治療及び認知症全般に関する外来を中心とした早期診断・治療を行い地域における認知症治療疾患医療センターとして役割を果たす。			2017~2018年度 自施設の役割について地域医療構想調整会議等において関係者と協議、協議の結果を踏まえ具体的な病床計画を策定			
独立行政法人国立病院機構	稼働病床	45		246		291			45		45								-	-	-	-	-	-	-				3				
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	許可病床	730	10			740	634	96			730	○							634	96					730			2017年度 集中治療部門及び周産期医療提供体制の拡充 2018年度 PFMの拡充					
国家公務員共済組合連合会	稼働病床	689	10			699	609	80			689								-	-	-	-	-	-	-			2019~2020年度 周産期医療提供体制の拡充、集中治療部門の拡充					
三浦市立病院	許可病床	136				136		96	40		136	○		○													引き続き、二次救急の機能を保持し、地域医療構造における横須賀・三浦市域内の心筋梗塞や脳卒中などの専門性の高い治療を行う超急性期病院などとのシームレスな連携を維持、発展させ、患者が速やかかつ適切な医療が受けられるよう、努めます。 関係機関との連携基盤を確固たるものにするため、引き続き、関係機関との連携を推進し、積極的な紹介患者の受け入れ、患者の心身ともに安楽な退院ができるような退院支援等に努めます。	2017年度 地域包括ケア病床増床の検討 2018年度 地域包括ケア病床増床の施設基準の届出(28床からH30.4.1より40床へ)					
三浦市	稼働病床	136				136		96	40		136	告示・輪番		(40床)														高齢者の増加も予想され、在宅での療養や取り組みを希望する患者や家族のニーズに対応できるよう、在宅医療の充実に係る取組みの検討。 医療に係る訪問看護を年数回実施しているが、地域の医療及び介護に係る訪問看護のニーズを把握し、実施回数を増やすよう人材確保と併せて、今後の業務の方向性を検討。					
横須賀・三浦 計	許可病床	####	####	376	0	6	####	1,464	####	693	1,046	300	####	18	1	8	7	7	3	####	####	921	971	41	0	5,075							
	稼働病床	####	####	376	0	6	####	1,421	####	646	981	0	####		(20床)	(366床)	(378床)			+29	+79	+268	△75	△259	-	+42							